

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和3年が始まりましたが、まだまだ新型コロナウイルスの収束が見えない中、これをじっくり思案する時間を貰ったと考え、明るい未来のため元気な内に、医療・介護サポートを含めた総合力が高い、高齢者施設に移り住むこともご検討されてはいかがでしょうか。

現在、介護付有料老人ホームは、感染症対策として、外部からの来館者が入る通常の見学会は開催していませんので、自宅に居て介護付有料老人ホームを比較検討できる「入居契約重要事項説明書」を読んで下さい。

当ホームの入居契約重要事項説明書は、20ページにわたり、文書の中に専門用語も使われ、難解な部分もありますが、その中で特に重要な所は、15ページに記載されている「入居者の状況」です。

「性別」は、男性と女性の比率を表しており、ラビドール御宿では男性が36%、女性は64%です。

「年齢別」では、ヤングシニアの65歳以下の方も入居されています。

「要介護度別」は、介護保険を受けていない自立されている方が172名、72%であり、ゴルフ同好会を始め各種サークルで活躍され、明るい雰囲気を醸し出しています。

「入居期間別」を見てみますと、「6ヶ月未満」「6ヶ月以上1年未満」の合計数が1年以内に新しく入居されたご入居者を表しています。

新規契約者も大切ですが、当ホームの償却期間10年を超えている方が116名、59%の方が償却期間を終えて、ご生活を継続していらっしゃいます。

ラビドール御宿は平成2年(1990年)10月に開設し、昨年の10月10日に30周年を祝いましたが、この116名の中で16名の方は、30年間ホーム生活を継続されています。

先日、この16名のおひとり様と会い、90数年生きているが、ラビドール御宿の生活が一番長いとしみじみと話されていました。

私どものご入居者は、元気で長生きしたい。家族も含め笑顔でゴールテープを切りたいと願っています。

高齢者施設を選ぶ上で、豪華な居室やシャンデリアなども重要ですが、長きにわたり生活できるソフト面も含めた総合力こそ最重要ではないでしょうか。

お問い合わせ **0120(122)602**
入居相談部 市東・引地

